



「アクセス」とは、情報に近づく道のこと。家庭科の先生方の日々の授業に役立つ資料を、折に触れお届けいたします。

生活の話題

「昔」の生活を、今の「生活的遊び」に  
安全・安心につながる生活材料の加工過程を知るために  
金田 利子

「先生、クンセイって何ですか？」と、知的好奇心旺盛な子どもならず、二人の大学生が私の耳元でそっと質問した。

この春、ゼミ生11人と一緒に富山県八尾市の山奥にある富山いたずら村「遊酔亭」こと旧農家のたてものを利用した山小屋に、合宿した時のことである。「遊酔亭」の主である早川たかしさん\*が我々のためにチーズの薫製を作ってくれるというときに知らないのが恥ずかしかったためであろう。私は、「煙い」、「燻す」、「焼く」などキーワードを使って、それがおいしくまた保存性も高い話を身振り手振りも入れて説明した。何とか想像してもらえたようだが、心理解されたかどうかは不確かである。

私は、「そうか、ここまで来たか」と、約20年間自然から切り離されて育ってきたことの意味に合点がいった。つまり今の子どもも若い大人もはや、煙い体験やものを燻したり、燃やしたりという経験が生活の中でできなくなっていることだと気づかされた。今は、紙くず・ゴミも有害ガスを発するので燃やしてはいけない、せいぜい幼稚園・保育園時代の焼き芋くらいが体験していることなのであるが、その焼き芋でさえ煙い思いをしてすることは難しくなっている。

つまり、彼女たちは、加工過程を知らずにスモーク食品を食べてきたのだ。食はもちろん加工過程を知ってはじめて資材を自ら安全・安心に配慮して生活に取り入れていくこと、すなわち主体的な生活者になれる筈であるのに。

では、どうしたらよいか。「昔」(1960年代以前)の手作り抜きにはできなかった時代の生活を、今は子どもたちの遊び、とりわけ、ごっこ遊びではなく「生活的遊び」(“うそっこ”ではなく現実であるという点では生活なのであるが、今実際の暮らしからは離れているという意味では遊び)を取り入れることが不可欠ではないかと考える。それは、安全・安心の面からも家庭科教育などその教材の一環として生活材料の加工過程を科学する教科学習の前提として、幼児期には勿論、それ以後の児童・生徒にも今改めて大切なのではないと思う。

そして、その教師こそは正に1960年代以前に生活の中心的担い手であった高齢者達ではないか。そうした方々を後期高齢者などと名付けて、現役から外してはいるこの窮状を救うことはできない。



\*「遊酔亭」と早川さんについては、早川たかし『子どもいたずら村づくり』(改訂版)教育資料出版社をご参考ください。

かねだ としこ 白梅学園大学子ども学部教授。OMEP(世界幼児教育機構)日本委員会会長。日本世代間交流協会副会長。著書に『生活主体発達論』(三学書房)など。

10月2日に「第5回 家庭科の保育と保育者養成の保育をつなぐシンポジウム」を開催予定です。詳細については白梅学園大学まで。

特集

安全・安心な暮らしと家庭科

子どもたちが健全に成長していくために、またすべての人が安心して暮らせるために、家庭科の学習をどのようにしていくかは課題です。今回は「生活の安全・安心」が授業や教科書の中でどのようにあつかわれているのかを取り上げ、共に考えていけるようにしました。

CONTENTS

- 生活の話題  
「昔」の生活を、  
今の「生活的遊び」に  
金田利子  
.....1
- 家庭科再発見  
開隆堂の教科書にみる  
「生活の安全・安心」  
.....2
- 実践レポート  
家庭科の必修授業に  
おける外部講師の活用  
石引公美  
.....4
- Information File  
教科書の視点  
.....6
- 「生活の安全・安心」を  
考えるための資料・本・  
DVD  
.....7

# 開隆堂の教科書にみる「生活の安全・安心」

家庭科は「生活」を学習の対象とする教科です。知識の暗記や頭の中だけの思考や紙面上だけの作業では「生活」を理解する力も実践する力も身につけません。開隆堂の教科書は、「どのような視点から」「どのように学ぶか」を大切に、他者との交流や実習・実践を通して生活事象を総合的・多面的にとらえ、「生活を築く力」を培うことをめざしています。その際に、「生活の安全・安心」の視点をとりわけ重視しています。今回の家庭科再発見では、教科書の中で、「生活の安全・安心」がどのように扱われているかをご紹介します。

## 1. 人生を見通し共に生きる

(『家庭基礎』第1部、『家庭総合』第1部、第2部)

異世代との交流を広げながら、未来の自分の姿、社会の姿を思い描くとともに、「生活の安全・安心」の観点からは、幼児の安全に配慮したり、高齢者の介助の際に気をつけることや、平等で個人が尊重される社会のために考えるべきことなどを取り上げています。

### 児童虐待の実態と児童虐待防止法 (基礎p.52 総合p.64)

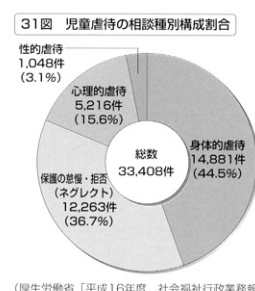
統計資料から現状を知り、弱い立場にある子どもたちを保護するための制度や法律を示しています。

#### 児童虐待防止法 (2000年制定)

●目的  
児童に対する虐待の禁止、児童虐待の予防及び早期発見その他の児童虐待の防止に関する国及び地方公共団体の責務、児童虐待を受けた児童の保護及び自立の支援のための措置などを定めることにより、児童虐待の防止に関する施策を促進する。

●児童虐待とは  
児童の身体に外傷が生じたり、生じるおそれのある暴行を加えること。児童に心理的外傷を与える言動。児童をいじめた行為をしたり、させたりすること。心身の正常な発達を妨げる著しい減食や長時間の放置。

●児童に対する虐待の禁止  
何人も、児童に対し、虐待をしてはならない。



(厚生労働省「平成16年度 社会福祉行政業務報告」)

### 介助の方法 移動の場合 (基礎p.67 総合p.79)

介助をする人は介助をされる人の安全を考え、介助が必要な人にとっては安心できる実習の方法を丁寧に解説しています。

#### 1 移動

車いすのつり、アイマスクなどをして学校内や学校のまわりをまわってみよう。

#### 車いすの介助

(1) 車いすの名称と操作

車いす使用の基本  
①車いすの正しい方を確認する。  
②車いすの安全を確認する。  
③使用する人への声かけと観察をする。  
④発進するときは両手でしっかりと押す。  
⑤止めておくときは必ずブレーキをかけておく。

安全  
・足はフットレストにきちんと置く。  
・壁や段差に足やひざをぶつけないようにする。  
・坂道は後ろ向きに下りる。  
・少しの間の停止でも、ブレーキは必ずかける。  
・スカートや衣服が車輪に巻きこまれないようにする。

(2) 車いすの介助の基本

●押し方  
車いすの真後ろに立つ。グリップをしっかりと握り、前後左右に注意し、ゆっくりと押す。

●ブレーキのかけ方  
車いすの横に立ち、片手はグリップをにぎり、片方の手で完全にブレーキをかける(反対側も同様)。

●キャスタの上げ方  
グリップをしっかりと握り、キャスタの上げ方を確認し、片方の手で完全にブレーキをかける(反対側も同様)。

## 2. 生活を営む

(『家庭基礎』第2部、『家庭総合』第3部)

食生活・衣生活・住生活に関する知識を理解し、実習や体験を通して生活の技術を身につけ、健康で安全に、また快適に生活を営むことができることをめざします。人間の生活の営みの具体的な学習では特に「生活の安全・安心」の視点が重要です。調理実習や実験におい

### トレーサビリティで得られること (基礎p.95 総合p.115)

生産者から消費者までの経路を情報公開している取り組みから、安全な食生活について考えられるようにしています。

#### トレーサビリティで得られること

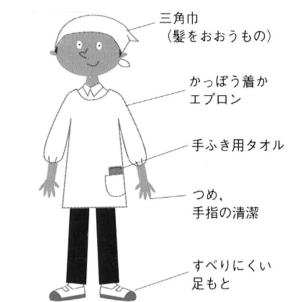
食品のトレーサビリティは、食生活のなかで、次のような利点がある。トレーサビリティを活用して、安全な食生活を営もう。

- 食品に問題が発生したとき、迅速に対応できる。
- 食品の安心・安全情報の入手が可能である。
- 食品の表示の信頼性が高まる。



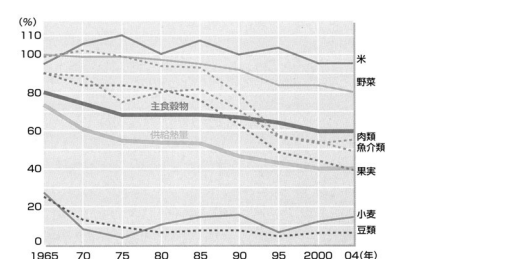
### 調理の服装 (基礎p.102, 総合p.122)

調理実習を衛生的で安全に行うために、どのような服装がよいかのチェックポイントを示しています。



### いろいろな食品の自給率の推移 (基礎p.118, 総合p.142)

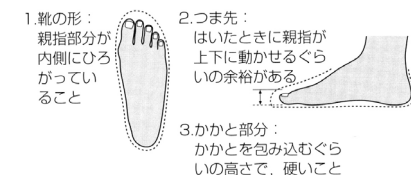
低下する日本の食料自給率から、食品の安全性や輸送のエネルギーコスト、食料の安定供給の課題等を考えられるようにしています。



て気をつけるポイントや、食品の安全性の問題、衛生的で快適な衣服の管理、表示の読みとり方、家族に安心をもたらす住まいづくり、事故や災害に備えた安全対策などの学習を通して将来的な安全・安心な生活の工夫について考えられるように取り上げています。

### 靴の選び方 (基礎p.122, 総合p.146)

健康と活動は足元から。体に負担がかからない靴選びのポイントを示し、靴と健康の関係を考えられるようにしています。



### 衣生活の実験 布を燃やしてみよう (基礎p.136 総合p.160)

被服素材を用いた燃焼実験を取り上げることによって、衣生活での危険性を回避するためにどのようにしたらよいか考えられるようにしています。

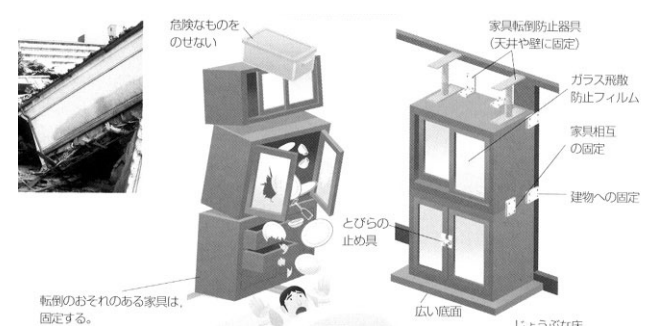
#### 実験 布を燃やしてみよう

〈実験方法〉 ガスの炎は揺れない程度に小さくする。布を1cm×10cmくらいに切り、ピンセットではさんで、以下の手順で観察する。①布を炎に近づけて、収縮や溶融などの変化があるか。②炎の中に入れて燃えるか、燃焼速度、炎の色、煙の状態はどうか。③炎から離して、燃え続けるか。④吹き消した後のにおい。⑤燃えかす、灰などの状態。

〈注意点〉 多くの合成繊維は燃焼前に溶融し、溶融物が溶け落ちて危険なので、必ず水を入れた受け皿を用意する。炎が衣類や髪に燃え移らないように注意する。部屋の換気に気を配り、においは、有毒な成分が煙に混ざることがあるので直接鼻に近づけたりせず手で風を送るなどの注意をして確認する。

### 安全を考えた家具の置き方 (基礎p.155 総合p.195)

地震などの災害に備え、安全な住生活を送れるように、具体的な手立てを示しています。



## 3. 生活を創る

(『家庭基礎』第3部、『家庭総合』第4部)

家庭生活を支える経済行為を理解し、高校生も主体的な消費行動が求められることを学習します。「生活の安全・安心」のためには、経済的な生活設計をたてることや、消費者被害を被らないための悪質商法対策や情報収集のしかたについて考え、持続可能な社会のための環境に配慮した消費行動を取り上げています。

### 経済生活設計とリスク (基礎p.170 総合p.219)

収入が減ったり、事故にあたりして経済的なリスクが生じたときに備えるための生活設計の必要性について触れています。

#### 発展 経済的生活設計とリスク

智慧が大学に通っている当時、父が突然、病気になって長期入院し、生活費や学費などに困ったことがある。その際にアルバイトを増やしたり、急ぎ大学から奨学金をもらうことで、何とか対応したらしい。友美は智慧からこの話を聞いて、自分の経済的生活設計を考えるときには、いろいろな経済的リスクも考えておく必要があると思った。

保険とは将来起こるかもしれないさまざまなリスクに対し、その予測される事故発生率に見合った一定の保険料を加入者が公平に分担することで、万一の事故に対して備える相互扶助の精神から生まれた助け合いの制度である。貯蓄とは金融機関等にお金を預けておいて、収入リスクや将来の出費に備える。

### 悪質商法の例 (基礎p.172 総合p.222)

高校生が遭遇しやすい悪質商法を具体的に挙げ、注意を促しています。

#### 悪質商法の例

**キャッチセールス**  
駅前や繁華街の路上で「アンケートに協力してください」「その喫茶店でゆっくりと」「興味がおありのようですね」「今ならキャンペーン期間中でお得ですよ」

**マルチ商法**  
入会した会などから商品を購入し、自分が新たに会員や商品の買い手を探し、会員や買い手を増やすことに入会料や売上金額の一部が入ることによって大きな利益が得られるというもの。

### 3Rの暮らし方 (基礎p.182 総合p.235)

主体的な消費者として、環境に配慮した消費行動が持続可能な社会を築くことにつながることを高校生にも実践できる例を挙げて示しています。

#### 3Rの暮らし方

**Reduce (リデュース)** (ごみ発生抑制)  
消費量を減らそう。そのためには、ごみになるものは断る(Refuse: リフュース)ことも大切だ。

**Reuse (リユース)**  
サイズが合わなくなったけどまだ着られる服は、合う人に譲ろう。

**Recycle (リサイクル)**  
用済みの容器は回収ルートにのせよう。商品を購入するときは、再生品を選ぶようにしよう。

# 家庭科の必修授業における外部講師の活用

東京都立本所高等学校教諭 石引 公美

## 1. はじめに

家庭科の学習では、さまざまな視点から物事を見て、自分のことから実践していく力を身につけさせたい。近年は将来生活関連の産業に職を得る者が増えているので、専門学科であっても普通科であっても、高校での家庭科の学習が、職業人としても消費者としても、生涯学習の基礎となる学びとなるよう工夫している。

目標として考えているのは次の3点である。

- 自らの必要とする課題を立てる力をつける
- 自らの生活や社会についての基礎的な知識を身につける
- 情報収集能力を身につける

「情報収集」については、選択授業では図書館の活用やインターネット検索、施設見学などを取り入れているが、必修授業では、40人一斉の授業でできることとして、新聞の活用と外部講師の授業を取り入れている。

## 2. 生活の安全・安心と外部講師の活用

これからますます社会が複雑になり、家事の外部化がすすんで他者へ生活を依存する部分が大きくなっていくことを考えると、生活の安全・安心を考えた時、自ら学んでいく姿勢や社会資源を有効に活用できる力が重要になってくる。そのためにも、生活の学習に専門家と出会わせたいと思う。

外部講師活用の目的は、

- 情報収集の際の専門的な窓口を知り、問題があったときや知りたいことがあったときに相談に行けるよう身近なものとする。
- 生活関連分野の職業について知る。

の2点である。は特に専門学科で幅広い職業を知らせたいと思う。

## 3. 外部講師計画の条件

授業で外部講師を計画するにはさまざまな制限がある。筆者は以下の4点に留意している。

- 講師料が無料か、報償費の範囲内で依頼できること。
- 身近な出会いとするため、クラスごとの授業に時間をあわせて来ていただけること。
- 企業の広報でなく、生活者の立場からの話をしていただけること。
- 広報や講座を担当している方に、高校生を対象とした授業を工夫していただけるようお願いする。

## 4. 授業の概要

家庭学科は前任校で2年の必修「消費生活」において、普通科は3年の必修「家庭総合」において外部講師の活用を行った。その概要を右ページの表で示した。

## 5. おわりに

消費者被害については内容が多岐にわたるので、若者に多い悪質商法や身近な事例、消費生活センターの紹介を重点的にお話していただき、契約やクレジット、クーリング・オフについては多少重複しても別に講義の時間をとった。短時間に多くの項目は消化不良になるので注意を要する。金融商品については専門的な知識が必要で、短時間に正確な知識を伝えるのは家庭科の教員だけでは難しく、ボランティアについてはさせていただく側のメリットなどは話せるが、場を提供する側のことを自信をもって話すのは難しいので、外部講師活用の意義は大きいと思う。どれも、授業全体の流れの中での位置づけをはっきりさせ、話してほしい

### 家庭学科必修「消費生活」2年2単位の授業において

依頼先と講師	(社)全国消費生活相談員協会 関東支部 消費生活専門相談員	東京都金融広報委員会 広報アドバイザー(ファイナンシャルプランナー)
テーマ	・消費生活専門相談員の仕事 ・消費生活センターの相談事業と相談事例 ・若者に多い悪質商法の被害	・金融商品の種類と特徴・選び方
ねらい	・若者に多い悪質商法の被害について知り、被害にあわないようにする。 ・被害にあったときや知りたいことがあったときに消費生活センターや相談窓口に行けるようにする。 ・消費生活関連専門職の仕事について知る。	・お金や金融商品の危険性について知る。 ・金融商品の種類と特徴、生活に取り入れる際の注意点を知り、有効に利用できるようにする。 ・ファイナンシャルプランナーの仕事について知る。
内容・配布資料	1. 消費生活センターの役割と相談員の仕事 2. 若者の相談の現状 3. 悪質商法の事例 ・キャッチセールス・マルチ商法・携帯電話やインターネットを利用した悪質商法についてのロールプレイ、役を割り当ててシナリオを読む 4. 契約クイズ 5. 解約 ・クーリング・オフの書面を書いてみよう 6. トラブルに合わないための知恵 ・困った時の相談先	1. お金って何? リスクと自己責任 ・ビデオの視聴 ・お金、株式、直接金融と間接金融、いろいろな金融商品、金融ビックバンについて 2. 100万円あったらゲーム ・100万円をどう使いたいのか ・「使う」「貯める・増やす」「まもる」ための方法と、その注意点やしぐみについて ・100万円を配分して、1年後にどうなったか計算する 3. 金融商品を知るための3つの基準 ・安全性・流動性・収益性
配当時間	2時間	2時間
クラス数	2クラス	2クラス
費用	規定の報償費を予算計上して利用。	東京都金融広報委員会の講師派遣制度を利用。無料。

内容を明確にして依頼する必要がある。

生徒の感想は、「何かあったら消費者センターに相談したい。」「今まで株がどんなものかわからなかったけれど、なんとなく流れがわかった。自分がやる時は詳しく調べてやりたい。」「バンド演奏がボランティアになるとは思わなかった。」など、自分の生活と結び

### 普通科必修「家庭総合」3年2単位の授業において

依頼先と講師	すみだ消費者センター 相談員	すみだボランティアセンター コーディネーター
テーマ	・若者に多い消費者被害の実態 ・すみだ消費者センターの紹介	・ボランティア活動の意義と活動分野 ・ボランティアセンターの紹介
ねらい	・若者に多い悪質商法の被害について知り、被害にあわないようにする。 ・必要な時に消費生活センターや相談窓口に行けるようにする。	・ボランティアについて知る。 ・卒業を控えて、できることからやっていこうとする意識をもつ。 ・ボランティアセンターを身近なものとする。
内容・配布資料	1. 契約クイズ 2. 若者を狙う悪質商法と相談事例 ・架空請求 ・ポイントカード・アポイントメントセールス ・マルチ商法 ・デート商法 ・ネットオークショントラブル 3. クーリング・オフ 4. すみだ消費者センター相談室の紹介	1. ボランティアとは何か ・語源と4原則 2. ボランティア活動の種類と内容 ・点訳のすみだ区報の実物の回覧、音訳テープを聴く。 ・墨田区社会福祉協議会のボランティア募集のリストや広報の回覧 ・10の分野について、双方にとっての意義や注意点などを解説 3. ボランティアの心がまえ 4. ボランティアセンターの役割
配当時間	1時間	1時間
クラス数	6クラス	6クラス
費用	すみだ消費者センターの出前講座として実施。無料。	墨田区社会福祉協議会の出前講座として実施。無料。

つけた感想が多く見られ、専門家の方から生のお話を聞くのは有効だった。しかし、生徒によっては授業の時間つぶしだとか、教員が授業を他の人に委ねているとしか受け取らない者もいた。なぜ外部の先生にお話をお願いするのか、ねらいをきちんと生徒に伝えることが大切だと思った。

## 教科書の視点

本誌2～3頁の家庭科再発見でご紹介した他にも、「安全・安心」の観点が教科書の中には豊富に入っています。ここでは、教科書記述の視点とともに、テーマごとにどのように「安全・安心」が扱われているかをまとめてみました（基は家庭基礎、総は家庭総合の略。続く数字は頁番号）。

### 生涯発達と家族

**家庭の機能と役割** 現代社会は、家庭に対してやすらぎや憩いの場としての機能を求める傾向にある（基18、総21）

**親子関係** 子どもにとって親は生活を保障し、成長を見守る存在。自立した後は互いに援助したりされたりする関係になる（基19、総22）

**ドメスティック・バイオレンス** 夫婦や恋人といった親密な関係の中で行われる暴力が問題化している（基19、総22）

**ワークシェアリング** ゆとりのある生活を取り戻すため、一人あたりの労働時間を短縮し、仕事を分かち合うという動きがある（基27、総33）

### 次世代を育む

**母体の健康管理** 薬物の使用や喫煙、過度の飲酒など妊娠中に気をつけるべきこと（総43）

**夫や周囲の協力** 周囲、特に夫（パートナー）の精神的な支えや家事の分担など実際の支えは、妊婦や胎児にとって欠かすことのできないものである（総43）

**子どもの食事と衣服** 乳幼児の食べ物や服装には衛生面・安全面の配慮が必要である（基40、総52）



**子どもの健康管理と安全** 乳幼児に起こりやすい事故や病気の予防対策について（基41、総53）

**子どもの遊び** 子どもには文化的・芸術的生活への参加の権利がある（基43、総55）

**親の役割** 親の役割とは子どもの生命と生活を保障することである（基45、総57）

**社会の役割** 国や地方自治体の子育てに関する保障、仕事と子育ての両立や、すべての親が安心感をもてる支援（ノバディーズ・パーフェクト）（基47、総59）

**子ども期の保障** 子どもの環境を守るための取り組みや制度・法律（基51、総62）

### 高齢期の生活

**人生80年代** 人生の4分の1を占める高齢期は、本当にやりたいことを行い、自分らしく生きられる可能性に満ちた時代（基55、総67）

**世代間交流** 高齢者を「一人の人格・文化や伝統の担い手」ととらえ、積極的にふれあい学ぶ（基57、総69）

**高齢者の福祉** 自立支援を基本とし、自己選択、自己決定ができる尊厳ある生活を保証することが求められている（基61、総74）

**デンマークでの高齢者福祉の三原則** 人生の継続性の尊重、高齢者の自己決定の尊重、残存能力の活用（基63、総77）

**人間の尊厳と介護** 介護される側の立場に立つて考える機会をもち、安全で安心できる介助の方法を身につける（基67、総78）

### 人の一生と福祉

**セイフティ・ネット** 生活のリスクに対して人びとの合意をもとに社会全体で対応するための社会保障や社会福祉の制度（基68、総84）

**共に生きる福祉社会** 人間はだれでも人間らしく生きることでできるとする生存権の理念とノーマライゼーションの理念。バリアフリーの考え方も広がっている。（基69、総86）

**支え合うしくみ** 公的年金制度・社会保険などの社会保障・社会福祉のしくみ。福祉サービスを積極的に利用し、またボランティア活動に参加すること（基71、総87）

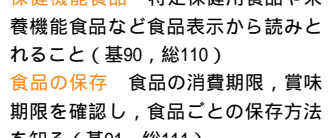
### 食べる

**日本型食生活** 栄養のバランスがとりやすく健康的で豊かな食生活（基77、総96）

**食の外側** 栄養面でのかたよりの食品加工上の安全面、味の画一化などの問題点がある（基79、総99）

**保健機能食品** 特定保健用食品や栄養機能食品など食品表示から読みとれること（基90、総110）

**食品の保存** 食品の消費期限、賞味期限を確認し、食品ごとの保存方法を知る（基91、総111）



**食中毒** 食中毒の実態と、防止のための取り組み（基92、総112）

**食品添加物** 食品添加物の目的と効果、表示の例（基93、総113）

**残留農薬** ポストハーベスト農薬の実態と、国により禁止農薬や残留基準が違ふことの課題（基94、総114）

**国の取り組み** 最近の食品の安全・信頼をおびやかす問題と、それに対

応した食品安全基本法やトレーサビリティなどの取り組み（基92、総112）

**安全な食生活への課題** 遺伝子組み換え作物や内分泌かく乱物質の実態（基96、総116）

**安全な調理実習** 服装や洗い方、切り方、ガス器具の使い方など実習中に気をつけることや、あとかたづけの際の注意点（基102、総122）

**食生活と環境** 現代の食生活が大量のエネルギー消費や環境汚染につながっていること。環境保全のためにバイオマスの利用など取り組みが始まっていること（基117、総140）

**食料資源** 日本の食料自給率が減少していることや、世界的な食料の安定供給の問題（基118、総141）

**地産地消** 地元で作られた生産物をその土地に住む人が消費する、生産者と消費者の距離が近い安全で安心な食生活（基119、総143）

### 着る

**被服の機能** 体温調節機能で外界とは異なった気候を被服と皮膚の間を持つ。また、被服の内側で清潔な皮膚面を保ち、外部からのダメージから身を守る役割を持つ（基121、総145）

**環境に配慮した新繊維** 生物由来の合成繊維であるグリーンブラや再生繊維（基129、総154）

**被服の管理** 衣服を清潔に長く使用するための洗濯の方法、保管の仕方（基132、総156）

**健康障害** 摩擦や加工剤による皮膚障害や紫外線の予防（基137、総161）

**衣生活と環境** 洗剤が環境に与える影響や衣服の廃棄の問題（基141、総178）

**ユニバーサルファッション** だれもがファッションを楽しめるように、年齢やサイズ、体型、身体機能の状況にかかわらず使用できる衣服（基142、総179）

### 住まう

**住まいの機能** 風雨や暑さ・寒さなどから身を守るシェルターとしてのはたらきと、心と体を休め、家族の安らぎをもたらすはたらき（基144、総182）

**家族のプライバシー** 家族員それぞれのプライバシーを保障しつつ、家族のコミュニケーションをいかに保つかが課題（基146、総184）

**生活行為と空間配置** 子どもの発達や高齢者の機能低下に配慮した住まいの計画（基、総186）

**健康と住まい** 衛生的で快適な住まいのために日照調節や換気をこころがけ、トラブルのもとになる騒音に注意する（基149、総193）

**家庭内事故** 住まいの中で起こりやすい事故について把握し、安全対策を考える（基154、総194）



**防犯** 共働きが増え、日中は留守がちな家庭が増えている中、近隣社会の人間関係を構築することで犯罪を防ぐ必要がある（基155、総195）

**住まいの損耗** 住宅を長く安全に気持ちよく使うための維持管理（基156、総196）

**住宅性能表示制度** 消費者が住宅の性能に関する質の高い情報を提供するしくみ（基161、総197）

**住まいと環境** 自然や社会的環境に適応した住まいづくり、まちづくりが求められている（基157、総198）

**防災マップ** 自宅から学校までの通学路に沿って、防災上大切な場所や危険な場所を調べて、絵地図の防災マップを作る（基161、総203）

### 生活と文化

**生活文化の伝承** 生活文化の共有は、家族や仲間、地域の人びとの絆を強め、その関係を維持するはたらきをもつ（総205）

### 暮らしと消費

**将来のための経済計画** ローンなどにより長期化した家計では、長期的な家計収支を考慮しつつ短期的な家計収支を考えなければならない（基168、総217）

**消費者信用** 消費者信用の利用が急速に拡大しているが、自分の返済能力を正しく把握しないと、自己破産にいたる危険がある（基173、総223）

**消費者の保護** 主な消費者問題と、企業に比べて弱い立場にある消費者を保護するための法律、制度、機関を知る（基175、総224）

**生活情報の活用** 消費生活にかかわる商品や生活情報は生活に必須であり、より正確で有効なものが求められる。消費者もそれを読み取る能力が求められる（基178、総228）

**消費生活と環境** 便利な暮らしと環境問題 日々の生活のしかたそのものが自然環境破壊の要因になっていて、大量生産・流通・排気というシステムの中での暮らし方を見直すことが求められている。ロハスの視点（基180、総232）

**持続可能な社会** フェアトレードや地産地消など、日常の消費のあり方が社会を変える（基184、総238）

## 「生活の安全・安心」を考えるための資料・本・DVD

### TOPIC

#### 消費者庁設置へ

政府は来年度の早期に消費者庁を創設する方針を発表しました。消費者の安全、安心にかかわる問題について幅広く所管し、消費者の視点から監視する強力な権限を与え、消費者行政を一元化するというもの。これに伴い、首相官邸から「消費者庁（仮称）の創設に向けて」という声明が公表されました。要旨は次の通り。

#### <6つの基本方針>

- ・消費者を主役とする政府のかじ取り役として、消費者の安全、安心にかかわる問題を幅広く所管する
- ・消費者行政全般についての一元的な機能を有する司令塔として位置づける
- ・消費者に身近な問題を取り扱う法律は消費者庁に移管する

### WEBサイト

#### 食品安全委員会

<http://www.fsc.go.jp/>  
 幼児や高齢者が起こしやすい「食べ物による窒息事故」を防ぐための資料や、鳥インフルエンザ、BSE、食中毒など、食の安全に関する資料が多く掲載されています。また、生徒向けには「どうやって守るの？食の安全」として図説入りのパンフレットがダウンロードできるようになっています。

#### ハザードマップポータルサイト

<http://www1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html>  
 国土交通省のWEBサイトの中にあるページ。住所などで検索することにより、自分の住んでいる町のハザードマップを見ることができます。

#### 国民生活センター

<http://www.kokusen.go.jp/>  
 商品テストの結果公表や、国民生活センターに寄せられた最新の消費者トラブルの相談事例が掲載されています。

### BOOK/DVD

### review



世界屠畜紀行  
 内澤旬子  
 解放出版社

イラストレーターでもある著者による緻密な屠畜の作業のイラストが文章とともに掲載されていますが、そこにはグロテスクさを描こうという意図は毛頭もなく、ただその技術の素晴らしさに熱心に見入っている様子が伺えます。世界各地の肉食文化のスケッチから、食べるということと生産することの本来的な近さが理解できます。



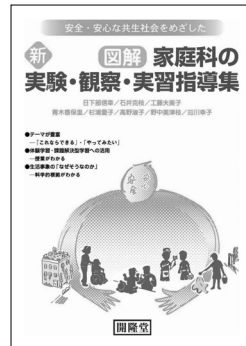
それでも生きる子供たちへ  
 監督：スパイク・リー、ジョン・ウー他  
 発売元：ギャガ・コミュニケーションズ

子どもの視点で映画を撮るというテーマで、世界の有名監督が7名集り、オムニバス映画ができました。それぞれの国により、両親の別離、ストリートチルドレン、HIV胎内感染、少年兵士など示される課題は様々ですが、一方でどのような状況でも遊び、創造する子どもたちの感受性に、誰もがかつてそうだった子どもの頃を思い出します。

# 開隆堂の高校家庭科用各種教材

新刊

## 安全・安心な共生社会をめざした 新図解 家庭科の実験・観察・実習指導集



人気シリーズの待望の第3弾が遂に完成！  
『図解 家庭科の実験・観察・実習』シリーズに第3弾が登場です。シリーズ3作目となる今回は、生活の中の「なぜ？」を「そうだったのか！」と納得・理解できることをいっそう重視し、「安全・安心な共生社会」をキーワードに、「子ども・高齢者・福祉・介護」、「生活一般・環境」、「衣・食・住」の3つのテーマを取り上げました。30分からできる事例もあり、「ねらい」、「指導上の位置づけ」、「材料・用具」、「留意点」が明記されていて授業で使いやすい、生徒の学習意欲が引き出せます。  
日下部信幸/石井克枝/工藤夫美子 他5名 編・共著  
B5判/100頁(口絵4頁) 定価 2,940円(本体2,800円)

新刊

## 新訂版 生活を科学する

家庭科教師と、家庭科教師をめざす大学生に長年親しまれたテキスト・参考図書が、内容も新たになりました。



記述が平易

資料が豊富

- 4章で構成
- 第1章 衣を科学する
  - 第2章 食を科学する
  - 第3章 住を科学する
  - 第4章 家族関係を科学する

「衣」の用具や被服製作例はカラーで、手順が懇切丁寧。「食」は基礎的・基本的・科学的なことから、食文化やマナーまで広範囲な内容満載。「住」は図面や写真を多く用いて視覚的。「家族関係」は現代家族の多様な事例を教材として掲載。

愛知教育大学教授  
小川正光/加藤祥子/西村敬子/早瀬和利/山根真理 共著  
A4判 本文120頁(内カラー32頁)  
別冊課題ノート(16頁)付  
定価1,890円(本体1,800円)



例 ワークシートの例も豊富に入っています。

### 既刊も好評発売中

- 図解  
家庭科の実験・観察・実習指導集  
日下部信幸・野田知子ほか4名 共著  
B5判 100頁(内カラー口絵4頁)  
定価 2,800円(本体2,667円)
- 続図解  
家庭科の実験・観察・実習指導集  
日下部信幸・下村道子ほか 共著  
B5判 100頁(内カラー口絵4頁)  
定価 2,900円(本体2,762円)

## 好評発売中

### 家庭科ワークシート集

B4判 80シート  
CD-ROM1枚 Windows版  
ワード・一太郎対応  
定価 6,300円(本体6,000円)

- 学習場面に応じて必要なシートを複写し、生徒個々に配布して活用できる。
- 生徒の自主的・創造的な学習を促すことができる。
- 各シートは、学習活動の内容によって、「課題」「調査/記録」「実験/観察」「計画」「技術のポイント」「発表/まとめ」「評価」「参考」などに活用できる。
- CD-ROMには、ワークシートの内容をデータで収録しているので、アレンジもできる。ワークシートの内容に加えて、調理の基本やミシンの操作などもアニメーションや拡大図で収録している。



ワークシート例

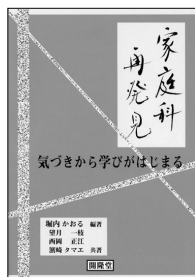
### ビジュアル栄養計算 (五訂増補版)

Windows  
XP/2000/NT4.0/98  
対応パソコンソフト  
定価 12,600円  
(本体12,000円)  
指導の手引き(B5判/80頁)付き  
生徒用追加CD-ROM  
定価 8,400円  
(本体8,000円)



### 家庭科再発見

堀内かおる編著  
望月一枝・西岡正江・濱崎タマエ著  
A5判/152頁  
定価 1,890円  
(本体1,800円)



### 家庭基礎 家庭総合 学習ノート

体様：B5判 別冊解答書付

- | 家庭基礎学習ノート                         | 家庭総合学習ノート                          |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| 明日の生活を築く<br>本文 96頁<br>定価 500円(税込) | 明日の生活を築く<br>本文 112頁<br>定価 550円(税込) |

### 家庭科 ACCESS 資料集 食品成分表付き

口絵+見返し 14頁  
本文 168頁  
(内 食品成分表32頁)  
定価 720円(税込)

### 食品成分表(五訂増補)

B5判 272頁  
定価 730円(税込)

## ACCESS

Vol.11-3(通巻37号)  
定価1200円(本体114円)  
送料80円

平成20年5月23日印刷 平成20年5月30日発行 編集兼発行人 山岸忠雄  
印刷所/興陽社 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8  
発行所/開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1  
03(5684)6121[営業] 03(5684)6118[販売] 03(5684)6116[編集]

**開隆堂出版株式会社**  
〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03(5684)6111

北海道支社 〒060-0061	札幌市中央区南一条西6丁目11 札幌北辰ビル ☎ 011(231)0403
東北支社 〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル ☎ 022(782)8511
名古屋支社 〒464-0802	名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザ ☎ 052(789)1741
大阪支社 〒550-0013	大阪市西区新町2-10-16 F Y C ビル ☎ 06(6531)5782
九州支社 〒810-0075	福岡市中央区港2-1-5 ☎ 092(733)0174